

## 「サミットの森」 森林整備活動



▲植樹をする丹波山村船木良教村長（左）とサミット竹野社浩樹社長（右）。



▲急斜面に植樹した木に、鹿などの食害防止ネットを取り付ける作業。

サミットは、環境面における社会貢献活動の一環として、山梨県丹波山村の小峰山に植樹を行う「サミットの森（小峰山）」森林整備活動を開始した。同活動は、第1期（2006年～）、第2期（2011年～）「サミットの森」に引き続き、第3期として新たなエリア・内容で実施。

第3期となる「サミットの森（小峰山）」森林整備活動では、山梨県丹波山村小峰山に、ミツバツツジやカエデ等、同村で多く見られる樹種の植樹を行い、水源地域の森林保護と育成を目的としている。

毎年、春・秋2回ずつ計年4回行う植樹活動では、同社ポイントカード会員を対象としたツアーの参加者が参加し、都市と農村の交流も促す。なお、5月実施の2回のツアーには334件の応募があった。

実施期間は2019年4月1日から2024年3月31日までの5年間。

同活動の植樹支援金については、同社が毎年6月に実施する「地球がよろこぶボーナスポイントセール」寄付金を充当し、寄付金額は毎年200万円程度。2019年度の活動には2018年6月実施のセール寄付金（2,432,127円）が当てられる。なお、寄付金は植樹・森林整備活動のみに使用し、ポイントカード会員ツアー等の費用、社員ボランティアに

掛かる費用は、別途、同社が負担する。

第1期・第2期では間伐、枝打ちなどを実施。社員研修や社内ボランティア活動で延べ1,650人が作業体験した。2015年には耕作放棄地に「サミットファーム」の運用を開始。第3期では、「サミットの森」森林整備活動に加え、「サミットファーム」での植え付け・収穫活動を合わせ、年23回、延べ580名のサミット利用客と同社社員が参加する予定。

同社竹野浩樹社長は「この活動は2006年から始まって13年目になる。我々の事業ビジョン『サミットが日本のスーパーマーケットを楽しくする』に沿い、お客様や取引先、社員と触れ合うことで日本のスーパーマーケットを良くしていきたい。また、この事業を通して、東京の方と村との良い循環を創っていききたい」とした。



◀2017年新たな取り組みとして、サミットファームと村の協働で社員が生産したじゃがいもを原料に焼酎「桃・いどむ」を醸造。